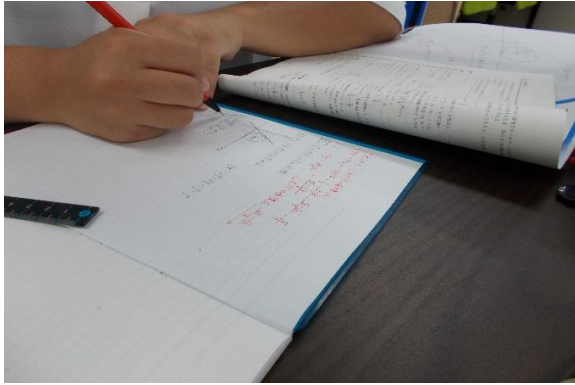


夢 塾 だ よ り

～ なぜ 頑 張 れ る の ～ (第3号)

平成29年9月14日



那覇新都心校を4月に開設し、7月には、中部校を北谷の美浜から沖縄市山内に移転。2校体制で日々「数学」と「人間」を見つめ、自身の能トレに励むこと。それは、忙しい中にもそれは密度の濃い充実したものです。昨年中学2年生だったN君は一年間に伸びたものは数学だけではありません。10も伸びました。

身長です。(笑い) あどけなさが残っていた彼も1年の間に顔つきも精悍さを増し、かっこよくなりました。伸び盛りの子供たちの変容をサポートできるこの仕事はいいものです。「フェイス トゥ フェイス」で1人・1人の成長に数学的にも人間的にも関われる。ひょっとしたら、教育とは「関わり」なのではないでしょうか。

去る8月23日から27日までの3日間、琉球大学と与那国中学校を最新機器の100インチ大型スクリーンで結び、双方向から通信できる実験授業の数学を担当させてもらいました。高校のない離島に帰省した高校生に授業をするというもので、これから3年間で離島に通信制高校の設置ができないかを検討しようというものです。スクリーンに向かって授業をしているという感じがなく、生徒たちの反応が手に取るようにわかり、タイムラグがなく、違和感のない授業でした。通信機器のすごさを体感しました。与那国の高校生は素直で瞳がキラキラ輝いていました。

昨年、塾を出してからまもなくした頃、塾に入ったある高校生に聞いたことがあります。「あなたはなぜ塾に入ったの？」その人はこういいました。「先生の人間性です」・・・私は涙ぐみました。1年間その言葉で頑張れました。彼女は今、アメリカに県費留学しています。今年になって他の生徒に聞きました。先生が一番いいところはなに？「人柄」なんで16~7歳の人間にわかるの？ 私は二度泣きました。

アインシュタインは次の言葉を残しています。「人の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので測られるのです」と。高倉健さんの言葉です。「人生は切ない。切ないからこそ、何かに『うわっ』と感じる瞬間がある。人は負けることがある。それでも負けないぞって思ってやっていたら、いい人に出会える。その出会いを信じて頑張るしかないんじゃないでしょうか」と・・・頑張れますネ。